

個人情報保護委員会（第109回）議事概要

- 1 日時：令和元年6月20日（木）10：30～11：30
- 2 場所：個人情報保護委員会 委員会室
- 3 出席者：嶋田委員長、熊澤委員、丹野委員、小川委員、中村委員、
大滝委員、藤原委員
其田事務局長、福浦事務局次長、的井総務課長
佐脇参事官、三原参事官、松本参事官

4 議事の概要

- (1) 議題1：生産性向上特別措置法における新技術等実証計画の申請案件
について

事務局から資料に基づき説明を行った。

原案のとおり了承され、当委員会の見解を革新的事業活動評価委員会に送付し、革新的事業活動評価委員会において特段当委員会の見解に修正を求められなかった場合には、認定及び公表に係る手続を進めることとなった。

- (2) 議題2：国際会議等開催報告（第51回 APPA フォーラム及び個人データ
国際セミナー）について

事務局から、資料に基づき報告を行った。

熊澤委員から「前回のニュージーランドでの APPA フォーラムにおいて、私が日本での開催を宣言したが、今回、同フォーラムが成功裏に終わったということでもともとほっとしており、良かったと思う。また、APPA フォーラム及び G20 サイドイベントの個人データ国際セミナーにおいて、グローバルな相互運用可能性についての議論があったことは大変意義深いことであり、今後とも当委員会としてその議論をしっかりとリードしていければと考えている」旨の発言があった。

大滝委員から「熊澤委員からも相互運用可能性の話があったが、特に、今般、欧州のデータ保護機関のトップから相互運用可能性の話について言及があったことは、当委員会が主体的に提案してきたことの大きな成果だったと言えるのではないかと考えている。また、米国側からもグローバルな相互運用可能性について議論がなされ、欧州だけでなく米国も大きな関心を持っており、日本からの発信が今後の相互運用可能性についての大きな貢献、後押しにつながるのではないかと考えている。これからより具体的な方向に向かって進展していくよう、期待を持って注目している」旨の発言があった。

また、嶋田委員長から「ほぼ同時期に、しかも初めて日本でこれらの大きなイベントを2件開催したということで事務局も大変だったと思うが、成功裏に終わることができて本当によかったと思う。先ほど2名の委員が

ら発言があったとおり、これらのイベントを契機にして、G20 を始めとした国際フォーラムにおける個人情報保護の議論がより一層活性化することを期待したい。特に相互運用可能性の提案は動き出したばかりであり、調整に苦労があると思うが、是非、目標の達成に向けて取り組んでいきたいと考えている」旨の発言があった。

(3) 議題3：監視監督について①

事務局から、資料に基づき説明を行い、原案のとおり決定された。
※内容については非公表。

(4) 議題4：監視監督について②

事務局から、資料に基づき説明を行い、原案のとおり決定された。
※内容については非公表。

以上